スプリングカンファレンス2020

投稿申込書・抄録書式

1. 投稿申込

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 投稿種別 | 研究報告　　･　　事例報告 | |
| 投稿日 | 年　　月　　日 | |
| 責任著者名 |  | |
| 責任著者所属(組織・部署・役職) |  | |
| 責任著者連絡先（メールアドレス） |  | |
| 責任著者連絡先（電話番号） |  | |
| 会員資格の有無 | 有　　・　　　無 | |
| 共著者（名前、所属 |  | 投稿資格の有・無 |
|  | 投稿資格の有・無 |
|  | 投稿資格の有・無 |
|  | 投稿資格の有・無 |
|  | 投稿資格の有・無 |

1. 抄録・事例報告投稿規定
   1. 投稿資格
      1. 当学会正会員もしくは学生会員で、掲載年度および掲載年度の会費を納入済み
      2. 当学会が寄稿を特別に依頼し、掲載料免除を承認した著者および共著者（掲載料金免除）
      3. 共著者で、当学会に属しないが規定の投稿料金を支払ったもの
         1. 掲載料金は各学術集会に定めた金額である。
         2. 掲載料金は著者に共著者分を含め合算請求する。
         3. 指定期日までに支払われない場合は、掲載を取り消す場合がある。
   2. 投稿種類
      1. 研究報告：研究計画や成果に基づく報告で、目的・方法・結果・考察などの構造で記す。
      2. 事例報告：日常の医療行為、医事、運営、技術的事項から見出した、事例を報告する。
   3. 投稿にあたっての倫理
      1. 著者および共著者は後述の課題に配慮し責任を負う。（他学術誌掲載稿と著しく類似、虚偽・事実歪曲・利益誘導など公平性･公共性･学術性を損なう内容等、 個人の人権・プライバシーを損なう内容）
      2. 臨床研究ではヘルシンキ宣言、厚生労働省・文部科学省の臨床研究に関する各種倫理指針に準拠し、倫理委員会等による研究計画承認を必要に応じて受け，承認されたことを明記する。
      3. 事例報告では対象者（患者等）のプライバシーを十分に留意し、保護する。
   4. 利益相反（Conflict Of Interest）の開示
      1. 当該投稿が関わるCOI状態について，本申込書で申告しなければならない。
      2. 申告事項の存在は問題ではない。申告事項が存在する場合に開示しないことは問題である。
      3. 本申告は学術大会事務局等による審査を行わない。記録を残すことが目的である。
   5. 掲載の採否

各学術集会実行組織にて採否を判断して、学会HP等を通じて広報する。

* 1. 投稿期限　　2019年12月6日
  2. 投稿方法　　jtta＠takasaki-u.ac.jpに、添付ファイルでお送りください。

　　　　　　二週間以内に受信確認連絡が無い場合は、jtta＠takasaki-u.ac.jp

にお知らせください。

* 1. 著作権
     1. 採録決定された原稿の著作権は，本学会に帰属する。
     2. 日本遠隔医療学会雑誌に再録することがある。

原稿作成に関するチェックリスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 遠隔医療に直結もしくは関連した研究、事例報告ですか？ | | | | はい／いいえ |
| 論文の投稿に関する不正行為（ねつ造、改ざん、盗用、多重投稿等）をしていませんか？ | | | | はい／いいえ |
| 臨床研究に関する投稿ですか？ | | | | はい／いいえ |
|  | ヘルシンキ宣言（ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則，1964年6月世界医師会総会）を基礎として厚生労働省・文部科学省の臨床研究に関する倫理指針，疫学研究に関する倫理指針に準拠していますか？ | | | はい／いいえ／非該当 |
| 被験者からのインフォームドコンセントおよび施設内倫理委員会による研究計画の承認を必要に応じて受け，承認されたことを原稿中に明記しましたか？　（承認番号等） | | | はい／いいえ／非該当 |
| 症例報告ですか？ | | | | はい／いいえ |
|  | 関係者の人格権を尊重し，報告する内容の説明を行い同意を得ていますか？ | | | はい／いいえ／非該当 |
| 演題投稿申込書に必要事項を全て明記して提出しましたか？ | | | | はい／いいえ |
|  | 演題や学術雑誌投稿申込書を誤って使用していませんか？ | | | はい／いいえ |
| 責任著者および全著者が投稿資格を満たしていますか？ | | | はい／いいえ |
| 利益相反（COI）報告や著作権確認をしましたか？ | | | はい／いいえ |
| 利益相反（COI）の報告　　（“参考情報　COI開示対象”を参照） | | | | |
|  | 本研究に関わる利益相反状態として報告すべきもの | | ある　／　ない | |
| 上項で「ある」場合、右欄に該当する利益相反状態を記入してください。 |  | | |
| 本書による投稿申込により、原稿の版権が学会が帰属すること、投稿号以外の本学会出版物への転載について、著者全員が同意したこととなります。 | | | | |
| 抄録の作成について | | | | |
|  | 学術集会指定の書式を仕様して、原稿作成しましたか？ | | | はい／いいえ |
| 書式の指示に従って原稿を作成しましたか？ | | | はい／いいえ |
| 書式にある項立て（はじめに、方法、結果、考察、まとめ）に沿って原稿を作成しましたか？ | | | はい／いいえ |
| 利益相反（COI）の状況を記載しましたか？ | | | はい／いいえ |
| タイトルは適切ですか？　研究内容を明確に表していますか？ | | | はい／いいえ |

参考情報　COI開示対象

|  |
| --- |
| 報酬額（１企業、団体から年間100万円以上） |
| 株式の利益（１企業から年間100万円以上、もしくは当該株式5％以内） |
| 特許使用料（１企業から年鑑100万円以上） |
| 講演料（１企業・団体から年間合計50万円以上） |
| 原稿料（１企業・団体から年間合計50万円以上） |
| 研究助成金（１企業、団体から年間100万円以上） |
| 奨学寄付金（１企業、団体から年間100万円以上） |
| 企業等が提供する寄付講座 |
| 旅費・贈答品などの受領（１企業、団体から年間5万円以上） |

投稿者本人および生計を等しくする家族が申告対象です。

発表時はCOI開示のスライドをご提示ください。

演題（日本語）ここに記入してください

サブタイトル（日本語）

Title (English)

Sub Title （English）

著者名（日本語）

Author Name（English）

著者所属（日本語）

Organization（English）

キーワード： 5個以内（日本語）

Key Words (max 5) （English）

本文は日本語800字（英文の場合には250語、英文校正済み）以内で記入してください。図表は入れないでください。

※以下の構成を参考にしてください。

１）研究報告

＜目的＞

＜方法＞

＜結果＞

＜考察＞

＜利益相反＞

２）事例報告（症例報告）

＜対象種別＞　システム等の事例、症例

＜対象者情報＞　疾病、診療手法、患者数、地域　等

＜財源（研究補助金、基金等、自主事業）＞

＜事象／報告要点＞